

# 上越教育大学教職大学院

## 地域と共に多様な学校課題に参画：「学校実習コンソーシアム上越」

本学では、10年以上の実績を誇る**本学教職大学院のカリキュラムの中核である「学校支援プロジェクト」のシステムを拡張**し、学校実習の円滑な実施及びその実質化を図るため、地元上越市及び近隣の妙高市、糸魚川市そして柏崎市教育委員会並びに4市校長会と連携して、平成30年7月に「学校実習コンソーシアム上越」を設立しました。

本学では、令和元年度より、小学校英語、プログラミング教育、グローバル・総合学習、ICT・情報、道徳・生徒指導等、現在の学校現場が抱える新たな教育課題、先端教科への対応等を図るために、これまで「教育臨床コース」「教育経営コース」の2コースで編成されていた教職大学院の教育組織を「**教科教育・学級経営実践コース**」「**先端教科・領域開発研究コース**」「**学習臨床・授業研究コース**」「**現代教育課題研究コース**」の4コースに再編し、入学定員も60名から170名へと大幅に増員しました。

大学の各研究室が有する幅広いシーズを活用することで、**地域と共に多様な学校課題の解決に参画しながら、理論と実践を往還する大学院レベルの大規模な学校実習を行えるようにするため、地元の4市教育委員会及び4市校長会と連携して「学校実習コンソーシアム上越」を設立しました。**

この「学校実習コンソーシアム上越」を起点に、大学の各研究室と連携を希望する各学校等との間のマッチング作業等を行いながら、**参加学生数約200名の大規模な学校実習を学校等の多様な課題解決にチームで参画する「学校支援プロジェクト」として実現しています。**

### 学校実習コンソーシアム上越のイメージ

